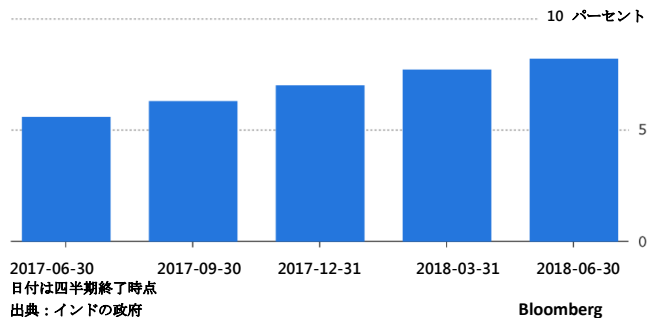


ハイライト

輝かしい業績

インドの GDP 成長率は 6 月期に 8%



インドの GDP は、2019 年度の 4 月期に前年比 8.2% 増加し、世界で最も急速に成長している主要経済国としての地位を固めた。貿易戦争の懸念が払拭されていないインドの強い国内消費と堅調な製造業成長は、2018 年度第 4 四半期の 7.6% に対し、2019 年度の第 1 四半期に 8% 増加した。2018 年上半期の鋼材およびセメントの生産高は、供給上の制約の解消、停滞した投資プロジェクトの復活、公共インフラプロジェクトへの重点化など政府の継続的な焦点が投資勢いを押し上げていることを示している。財政、不動産、IT およびビジネスサービスのサブグループの回復が強くなった場合（根本的に悪影響があったにもかかわらず）、回復の若芽も指摘されている。成長率の上昇は、インフレ圧力が需要を押し上げることにより、改革がインドの成長可能性を引き上げ、先行する動きはインフレなきのままであることを示唆している。

(出典：Bloomberg)

世界的投資家は 7 月に最も多くの債券を購入し、7 月の 1 億 500 万ドルに対し、8 月にはルピー建て債に 3 億 3,300 万ドルを抛出した。楽観的なことは、一年間の最悪の敗北は終わったということで、魅力的な利回りは、企業が収益拡大を発表しても、インドの債券市場への関心が再び高まっている。

(出典：Bloomberg)

輸出関連の製薬株は、ルピーが弱くとも上昇している「医薬品産業ビジョン 2020」及び製造コストを削減する製薬パークのような様々な経済的推進要因と政府政策は、バイオシミラーやバイオロジック部門を付随的なセクターとともに強化しており、インドにおけるセクターの成長を促進している。

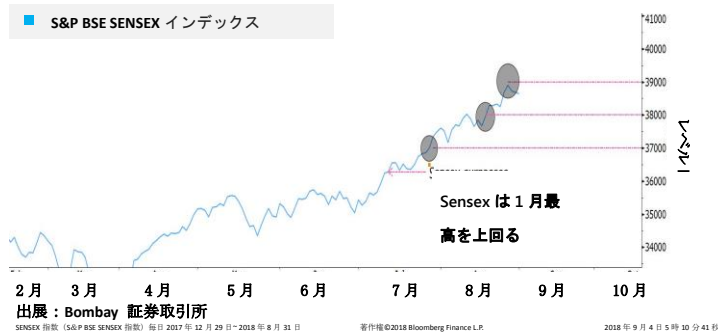
(出典：Bloomberg)

インド企業を含む取引が 1045 億ドルに達したため、合併・買収は盛んであり、今年はほぼ 4 ヶ月で前回の年間記録を簡単に上回る。新たな倒産法、電子商取引業界における優位性の競争、アジアに拠点を置くプライベート・エクイティ・ファンドでの戦争史上最大の競争は、世界で最も急成長を遂げている主要経済における対処のための未曾有の機会を呼んでいる。M&A 活動は、インドの金融システムに不良債権を取り除くのに役立っており、鉄鋼から電力への産業とインフラストラクチャーの見通しが新しいインド破産法の下で統合される見通しである。2017 年末に配備可能な 225 億米ドルの記録を持つアジアのプライベート・エクイティ・ファンドは、機会を求めている。2018 年上半期のみでは、プライベート・エクイティとベンチャー・キャピタル・ファンドが、インドへの投資を 46% 増やして 152 億ドルとなった。

(出典：Bloomberg、アーンスト・アンド・ヤング)

他の画期的な出来事

今年の 7 月から Sensex が第 3 ラウンドにマック



S&P BSE Sensex は 39,000 レベルに近づいています。インドをアジアで最も優れた株式市場にした回復では 8% を上回った経済成長が今後数カ月間に電力株の上昇を助けるという楽観論があるので、今年株価指数は第 3 ラウンドを上回る見通しである。

(出典：Bloomberg)

インドの工業生産高は、GST 改革前の昨年のベース・エコノミーからの恩恵を受け、前年比 0.3% 減と比べて前年比 7% 増の 6 月に 4 ヶ月ぶりの高水準に回復した。コンピューター、電子および光学製品の製造業は 44% 伸び、昨年は自動車、トラクター、セミトラクターが 20.5% 増加した。

(出典：Bloomberg)

重要な情報

この報告書は、株式単元のオファーを構成するものではなく、勧告または意見書または広告でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起り得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、助言を求めるべきであります。

当社がお客様の投資問題を解決するうえでお役に立てる方法について詳しくお知りになりたい場合には UTI 資担当者にお問い合わせ頂くか、www.utifunds.com をご覧ください。